

社会資本総合整備計画

金剛^{こんごう}地区^{ちく}(第1回変更)

令和6年1月

富田林市

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月26日

計画の名称	金剛地区施設等再整備計画											
計画の期間	令和05年度 ~ 令和09年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	富田林市											
計画の目標	金剛中央線（ふれあい大通り）を地区活性化の中心軸と位置付け、都市空間の再編により、「一人ひとりが煌き続けられるまち」「閑静な趣を育み続けるまち」を実現 ・歩道空間と一体的で滞留性のある広場空間への再編により、賑わいづくりや住民主体の多様な取組、交流機会を創出する。 ・歩行空間の改変により滞留性の向上や交流機会を創出する。 ・官民一体による交流・滞在期間を創出する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	120	A	120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5年度当初		R12年度末
1	金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（平日）（従前値）2,421人/日（目標値）3,320人/日 金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（平日） 住民主体の活動増加率（R5 R12） 11回/7回 = 1.571 人口減少率（2022年 2030年）13,592人/15,531人 = 0.875 = x = 1.571 × 0.875 = 1.375（目標値） = （従前値） ×	2421人/日	人/日	3320人/日
2	金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（休日）（従前値）1,539人/日（目標値）2,110人/日 金剛中央線（ふれあい大通り）の歩行者の通行量（休日） 住民主体の活動増加率（R5 R12） 11回/7回 = 1.571 人口減少率（2022年 2030年）13,592人/15,531人 = 0.875 = x = 1.571 × 0.875 = 1.375（目標値） = （従前値） ×	1539人/日	人/日	2110人/日
3	イベント来場者数（従前値）2,800人/年（目標値）4,400人/年 まちなか滞在快適性向上区域で開催されたイベント来場者数 住民主体の活動増加率（R5 R12） 11回/7回 = 1.571 （目標値） = （従前値） ×	2800人/年	人/年	4400人/年
4	滞在快適性等向上区域の満足度（従前値）63.0%（目標値）81.0% 滞在快適性等向上区域に対する滞在環境に対する満足度 住民主体の活動増加率（R5 R12） 9回/7回 = 1.286 （目標値） = （従前値） ×	63%	%	81%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
社会資本総合整備計画の期間については、令和09年度において令和12年度へ変更予定。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R05	R06	R07	R08	R09						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	富田林市	直接	富田林市	-	-	金剛地区まちなかウォークアブル推進事業	道路、滞在環境整備、高質空間形成、一体型滞在快適性等向上	富田林市						120		-			
												小計						120				
											合計						120					